

平成29年 9月28日

平成29年第3回神奈川県議会定例会

建設・企業常任委員会報告資料

県土整備局・企業庁

目 次

「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2016年度評価報告書（案）」について ……	1
平成28年度公共工事等に係る競争入札等の実施結果について ……	5

「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2016年度評価報告書(案)」について

1 趣旨

平成28年3月に策定し、平成29年3月にK P I（重要業績評価指標）を追加して一部改訂を行った「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示した施策の進捗状況について、成果や課題を分析し、必要な改善や見直しを図っていくため、平成28年度の実績について評価を行った。

2 経過

- ・ 平成28年1月27日開催の神奈川県地方創生推進会議で、「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理について議論し、これに基づき、平成28年11月に「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2015年度評価報告書」をとりまとめた。
- ・ 神奈川県地方創生推進会議の下に設置した総合戦略推進評価部会を平成29年8月2日及び7日に開催し、平成28年度の評価結果について整理した「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2016年度評価報告書(案)」について議論した。

3 特徴

- ・ 県の事業部局が、基本目標の実現に向けた施策の最小単位である「小柱」ごとに、主な取組みの進捗状況や成果をもとに、各事業のK P I（重要業績評価指標）の達成状況も考慮した、総合的な一次評価を行う。
- ・ 一次評価を踏まえ、神奈川県地方創生推進会議が第三者の立場から基本目標ごとに二次評価を行う。
- ・ 県民に分かりやすく示すため、「順調」「概ね順調」「やや遅れている」「遅れている」の4つの区分により評価結果を示すとともに、今後対応が求められる課題や改善を図るべき事項について整理する。

4 神奈川県地方創生推進会議による評価の概要

- ・ 4つの基本目標の進捗については、いずれも「概ね順調」であり、2年目の取組みは全体として、概ね順調に進捗していると評価する。
- ・ しかし、県の一次評価を見ると、昨年度と比べ、「順調」という評価の小柱の数が減っていることから、取組みに大きな遅れはないものの、その進捗のペースは緩やかになっていることがうかがえる。
- ・ また、定量的な指標の達成だけでなく、県民生活の向上や地域の活性化などの成果を県民が肌で感じられる、質的な側面にも配慮していく必要がある。
- ・ なお、基本目標ごとに、今後対応が求められる課題等を指摘したので、今後、これらの課題等に留意して、さらに総合戦略の取組みを進める必要がある。
- ・ 基本目標ごとの部会による二次評価(案)は次表のとおり。

評価結果一覧 <「参考資料」参照>

基本目標 1 県内にしごとをつくり、安心して働けるようにする

中柱	小柱	部会による二次評価(案)
(1)未病産業	未病産業の創出・育成	概ね順調に進んでいます ・ 生産年齢人口の就業率について、増加している年齢層や性別などを分析し、より一層効果的に取り組む必要があります。 ・ 中小企業の事業継承について、問題が多様化しているため、実態をしっかりと分析し、取組みを進めていく必要があります。 ・ 県産農林水産物のブランド化を図るため、地域資源の掘り起こしをさらに進める必要があります。 ・ 農林水産業の担い手の確保について、引き続き取組みを進めていく必要があります。
(2)ロボット産業	ロボット関連産業の創出・育成	
(3)エネルギー産業	エネルギー産業の振興	
(4)観光産業	観光産業の振興	
(5)産業創出・育成	成長産業の創出・育成	
	産業集積の促進	
(6)就業の促進	県内産業の成長促進	
	就業の促進	

基本目標 2 神奈川への新しいひとの流れをつくる

中柱	小柱	部会による二次評価(案)
(1)神奈川ライフの展開	神奈川ライフの展開による移住・定住の促進	概ね順調に進んでいます ・ ロボット共生社会を実現するため、メディアの活用を含め普及啓発を一層進めるとともに、社会実装に向けた取組みを進めていく必要があります。 ・ 外国人観光客誘致に向け、日本在住外国人からの発信や外国語サイトの活用など、より一層効果的に発信する必要があります。 ・ マグカルについて、様々な年齢層に関心を持ってもらうため、幅広い分野のコンテンツを扱うとともに、ターゲットを明確にした広報を行う必要があります。 ・ 三浦半島の観光振興に向け、シーレーンの整備など海洋ツーリズムをさらに進めていく必要があります。
(2)神奈川モデルのショーケース化	ヘルスケア・ニューフロンティアの発信	
	エネルギー自立型の住宅・ビル・街の形成をめざす神奈川の発信	
(3)観光プロモーションの推進	ロボットと共生する神奈川の発信	
	外国人観光客の誘致促進	
(4)地域資源を活用した魅力づくり	国内観光客の誘致促進	
	県西地域活性化プロジェクトの推進	
	三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進	
	かながわシープロジェクトの推進	
	マグカルの推進	
	地域のマグネットとなる魅力づくり	

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

中柱	小柱	部会による二次評価(案)
(1)結婚から育児までの切れ目ない支援	若い世代の経済的基盤の安定、社会的自立に向けた支援	概ね順調に進んでいます <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の経済的な基盤の安定に向けて、より一層取り組んでいく必要があります。 女性が働きづらい原因を多角的に分析した上で、長時間労働の是正や職場環境の整備など多様な取組みを進めていく必要があります。 潜在的待機児童にも配慮しながら保育所の整備を進めるとともに、保育の質の向上に取り組んでいく必要があります。 子どもたちが、目標に向かって粘り強く取り組む姿勢や協調性、感情をコントロールする力などの「生きる力」を身につけられるような教育に一層取り組む必要があります。
	結婚の希望をかなえる環境づくり	
	妊娠・出産を支える社会環境の整備	
	子育てを応援する社会の実現	
(2)男女共同参画の推進	女性の活躍支援と男女共同参画の推進	
(3)働き方の改革	多様な働き方ができる環境づくり	

基本目標 4 活力と魅力あふれるまちづくりを進める

中柱	小柱	部会による二次評価(案)
(1)健康長寿のまちづくり	未病を治す環境づくり	概ね順調に進んでいます <ul style="list-style-type: none"> 県民が「未病改善」によって得られる効果を実感し、健康に対する関心を高められるよう、未病の考え方の一層の周知を図る必要があります。 バリアフリー化を進めるに当たっては、高齢や障がいなど、人によって異なる移動のしやすさなどに配慮して進める必要があります。
	高齢になっても活躍できる社会づくり	
(2)持続可能な魅力あるまちづくり	人口減少社会に対応したまちづくりの推進	
	個性豊かなまちづくりの推進	
	安全で安心なまちづくりの推進	
(3)交通ネットワークの充実	交流と連携を支える道路網の整備・活用と鉄道網の整備など	

5 今後の予定

平成29年10月 神奈川県地方創生推進会議で議論し、二次評価を確定
11月 評価報告書公表

平成28年度公共工事等に係る競争入札等の実施結果について

1 公共工事

(1) 概要

本県では、平成18年4月1日から250万円を超える案件は、原則、条件付き一般競争入札とする新たな入札制度「かながわ方式」を導入した。

また、平成26年度から、県土整備局において、250万円を超える案件で、いのち貢献度指名競争入札の試行を開始し、平成27年度から、試行範囲を全庁に拡大した。

(2) 落札率等の状況

ア 県土整備局

区分	件数		平均落札率		平均応札者数		入札不成立の件数	
		前年度比較		前年度比較		前年度比較		前年度比較
条件付き一般競争入札	件	件	%	P	者	者	件	件
	688	28	90.7	1.0	10.0	0.6	44	5
いのち貢献度指名競争入札	115	3	91.0	0.6	7.1	0.4	7	7
計	803	31	90.8	1.0	9.6	0.4	51	12

小数点第2位を四捨五入
他部局からの依頼工事を含む。

イ 企業庁

区分	件数		平均落札率		平均応札者数		入札不成立の件数	
		前年度比較		前年度比較		前年度比較		前年度比較
条件付き一般競争入札	件	件	%	P	者	者	件	件
	439	3	93.5	0.2	8.5	0.6	30	7
いのち貢献度指名競争入札	46	6	94.7	0.8	7.4	0.1	3	3
計	485	9	93.6	0.2	8.4	0.6	33	4

小数点第2位を四捨五入

2 工事系委託

(1) 概要

本県では、平成21年4月1日から1千万円以上の案件に、条件付き一般競争入札と最低制限価格制度を導入し、同年10月1日から、条件付き一般競争入札の適用範囲を、250万円を超える案件まで拡大するとともに、100万円を超えるすべての入札案件に最低制限価格制度を導入した。

また、平成26年度から、県土整備局において、250万円を超える案件で、いのち貢献度指名競争入札の試行を開始し、平成27年度から、試行範囲を全庁に拡大した。

(2) 落札率等の状況

ア 県土整備局

区分	件数		平均落札率		平均応札者数		入札不成立の件数	
		前年度比較		前年度比較		前年度比較		前年度比較
条件付き一般競争入札	件 443	件 51	% 81.4	P 1.1	者 12.4	者 0.1	件 5	件 0
いのち貢献度指名競争入札	97	73	82.1	0.1	10.0	0.6	3	3
指名競争入札	103	33	84.8	1.0	7.2	0.3	3	0
計	643	157	82.0	1.0	11.2	0.3	11	3

小数点第2位を四捨五入
他部局からの依頼工事を含む。
清掃請負（庁舎外）等を除く。

イ 企業庁

区分	件数		平均落札率		平均応札者数		入札不成立の件数	
		前年度比較		前年度比較		前年度比較		前年度比較
条件付き一般競争入札	件 55	件 8	% 82.8	P 1.8	者 9.7	者 0.9	件 1	件 0
指名競争入札	14	4	83.9	1.7	8.0	0.1	1	1
計	69	4	83.0	1.8	9.3	0.6	2	1

小数点第2位を四捨五入
清掃請負（庁舎外）等を除く。

3 今後の対応

今後、入札実施状況などのデータの蓄積を引き続き進めるとともに、社会情勢などの変化を踏まえ、継続的に制度の見直しを実施していく。

平成28年度 競争入札等の実施結果 集計表

【 工 事 】

1 落札率等の状況

(1) 県土整備局

区分	平成28年度				平成27年度				平均最低 制限価格 率の比較 G=A-D	平均落札 率の比較 H=B-E
	件数	平均 最低制限 価格率 A	平均 落札率 B	C=B-A	件数	平均 最低制限 価格率 D	平均 落札率 E	F=E-D		
一般競争	688	89.7	90.7	1.0	716	88.3	89.7	1.4	1.4	1.0
いのち指名	115	89.2	91.0	1.8	118	87.8	90.4	2.6	1.4	0.6
計	803	89.6	90.8	1.2	834	88.2	89.8	1.6	1.4	1.0

(2) 企業庁

区分	平成28年度				平成27年度				平均最低 制限価格 率の比較 G=A-D	平均落札 率の比較 H=B-E
	件数	平均 最低制限 価格率 A	平均 落札率 B	C=B-A	件数	平均 最低制限 価格率 D	平均 落札率 E	F=E-D		
一般競争	439	90.4	93.5	3.1	436	88.8	93.3	4.5	1.6	0.2
いのち指名	46	89.3	94.7	5.4	40	87.9	93.9	6.0	1.4	0.8
計	485	90.3	93.6	3.3	476	88.8	93.4	4.6	1.5	0.2

2 応札等の状況

(1) 県土整備局

区分	応札者の状況							入札不成立の件数						
	平成28年度			平成27年度			平均応札 者数の比 較 K=I-J	平成28年度			平成27年度			不成立件 数の比較 N=L-M
	応札者数			応札者数				不調	応札 なし	計L	不調	応札 なし	計M	
	最高	最低	平均I	最高	最低	平均J								
一般競争	36	1	10.0	55	1	10.6	0.6	27	17	44	28	21	49	5
いのち指名	17	2	7.1	17	2	6.7	0.4	4	3	7	6	8	14	7
計	36	1	9.6	55	1	10.0	0.4	31	20	51	34	29	63	12

(2) 企業庁

区分	応札者の状況							入札不成立の件数						
	平成28年度			平成27年度			平均応札 者数の比 較 K=I-J	平成28年度			平成27年度			不成立件 数の比較 N=L-M
	応札者数			応札者数				不調	応札 なし	計L	不調	応札 なし	計M	
	最高	最低	平均I	最高	最低	平均J								
一般競争	39	1	8.5	44	1	7.9	0.6	25	5	30	27	10	37	7
いのち指名	12	2	7.4	12	3	7.3	0.1	2	1	3	0	0	0	3
計	39	1	8.4	44	1	7.8	0.6	27	6	33	27	10	37	4

【 工事系委託 】

1 落札率等の状況

(1) 県土整備局

区分	平成28年度				平成27年度				平均最低 制限価格 率の比較 U=0-R	平均落 札率の 比較 V=P-S
	件数	平均 最低制限 価格率 O	平均 落札率 P	Q=P-O	件数	平均 最低制限 価格率 R	平均 落札率 S	T=S-R		
一般競争	443	80.6	81.4	0.8	494	80.6	82.5	1.9	0.0	1.1
いのち 指名	97	80.4	82.1	1.7	170	80.3	82.2	1.9	0.1	0.1
指名競争	103	80.3	84.8	4.5	136	80.1	85.8	5.7	0.2	1.0
計	643	80.5	82.0	1.5	800	80.4	83.0	2.6	0.1	1.0

(2) 企業庁

区分	平成28年度				平成27年度				平均最低 制限価格 率の比較 U=0-R	平均落 札率の 比較 V=P-S
	件数	平均 最低制限 価格率 O	平均 落札率 P	Q=P-O	件数	平均 最低制限 価格率 R	平均 落札率 S	T=S-R		
一般競争	55	80.6	82.8	2.2	63	80.5	84.6	4.1	0.1	1.8
指名競争	14	80.4	83.9	3.5	10	80.5	85.6	5.1	0.1	1.7
計	69	80.6	83.0	2.4	73	80.5	84.8	4.3	0.1	1.8

2 応札等の状況

(1) 県土整備局

区分	応札者の状況							入札不成立の件数						
	平成28年度			平成27年度			平均応札 者数の比 較 Y=W-X	平成28年度			平成27年度			不成立 件数の 比較 b=Z-a
	応札者数			応札者数				不調	応札 なし	計Z	不調	応札 なし	計a	
	最高	最低	平均W	最高	最低	平均X								
一般競争	38	1	12.4	34	1	12.5	0.1	5	0	5	3	2	5	0
いのち 指名	23	3	10.0	27	2	9.4	0.6	3	0	3	4	2	6	3
指名競争	12	2	7.2	10	3	6.9	0.3	3	0	3	2	1	3	0
計	38	1	11.2	34	1	10.9	0.3	11	0	11	9	5	14	3

(2) 企業庁

区分	応札者の状況							入札不成立の件数						
	平成28年度			平成27年度			平均応札 者数の比 較 Y=W-X	平成28年度			平成27年度			不成立 件数の 比較 b=Z-a
	応札者数			応札者数				不調	応札 なし	計Z	不調	応札 なし	計a	
	最高	最低	平均W	最高	最低	平均X								
一般競争	33	1	9.7	31	1	8.8	0.9	1	0	1	1	0	1	0
指名競争	14	4	8.0	9	5	8.1	0.1	1	0	1	0	0	0	1
計	33	1	9.3	31	1	8.7	0.6	2	0	2	1	0	1	1

小数点第2位を四捨五入

県土整備局には、他部局からの依頼工事を含む。

工事系委託は清掃請負（庁舎外）等を除く。

〔参考〕 本県の主な入札制度

区分	条件付き一般競争入札	いのち貢献度指名競争入札
目的	公平性に優れ、適正な価格競争で品質の確保を図る	県民の「いのち」を守る担い手となる地域の建設業者等を中長期的に育成・確保する地域の安全・安心を確保するため必要な工事及び工事系委託を早期に実施する
適用範囲	〔工事〕 250万円超24.7億円未満 〔工事系委託〕 250万円超2.4億円未満	工事・工事系委託ともに 250万円超 1.5億円未満
	工事・工事系委託全般	〔工事〕 ・特に地域貢献度の高い社会貢献企業、優良工事施工業者を対象とした工事 ・災害復旧に係る復旧工事 ・その他早期に着手が必要な工事 等 〔工事系委託〕 ・見積公募を行い、見積書提出者を対象とした委託 ・災害対応工事等の緊急を要する委託 ・その他早期に着手が必要な委託 等

100万円超から250万円以下の工事系委託については、いのち貢献度指名競争入札以外の指名競争入札を実施